

バトンタッチはここから始まる！

GMC

Green Master College

板金総合 4カ月(80日間)コース

JMC

Junior Management College

前期12日間・後期10日間コース

AMADA SCHOOL OF VOCATIONAL TRAINING CORPORATION

AMADA SCHOOL

経営後継者育成講座



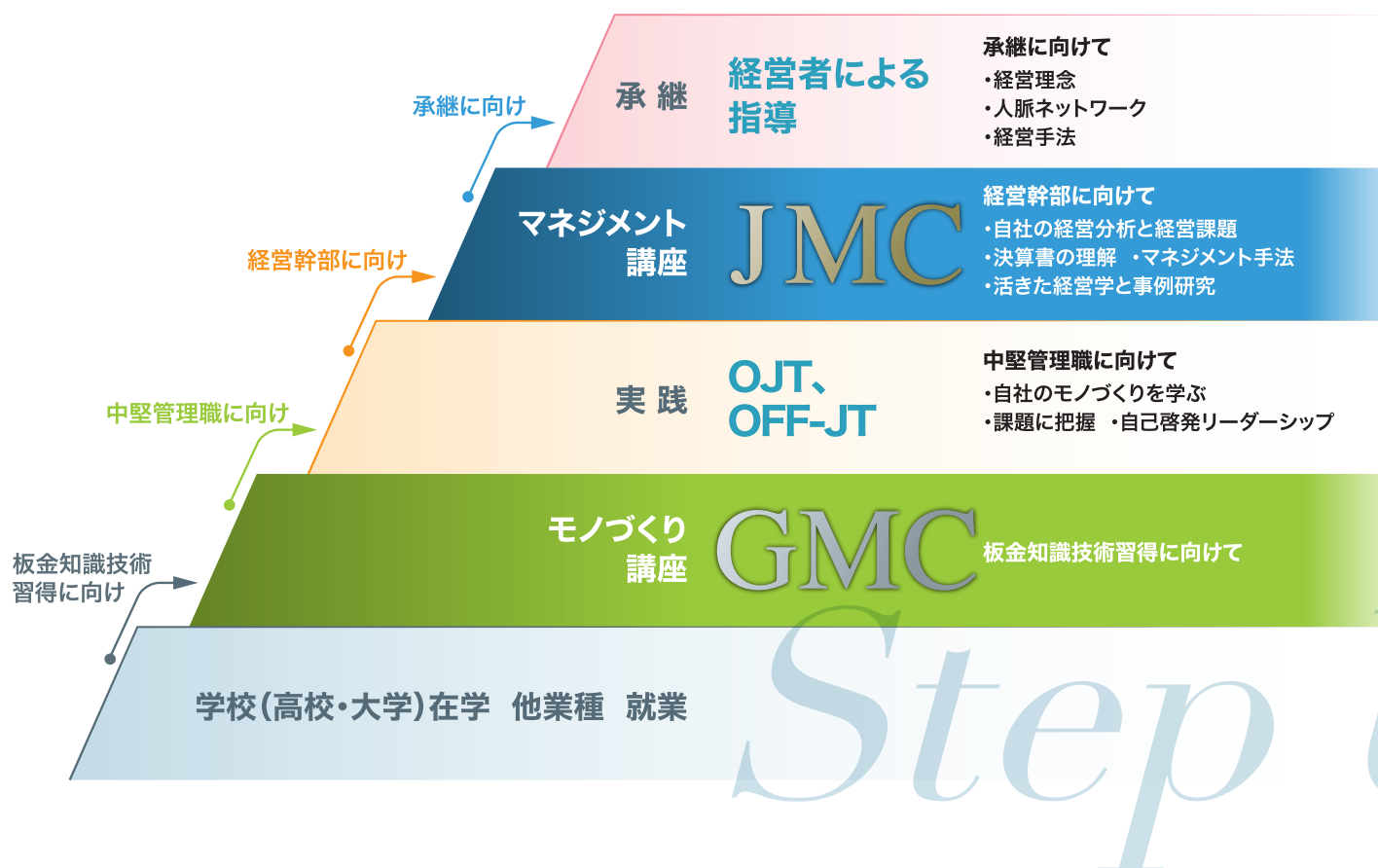
創造と挑戦の舞台

未来を切り開く次世代のリーダーへ

事業を将来に向けて維持、成長させるためには、
早期の事業承継に向けた取り組みが重要です。

特に後継者は、必要な技術や経営知識を継続的に習得していくことが要求されます。

長年の経営後継者向け講座を運営してきたアマダスクールならではの2つの講座による
板金の知識、技能習得から承継に向けたステップで次世代の人材を育成していきます。



板金総合4カ月コース（集合研修）

Page. 3

現場視点
からアプローチ

リーダーに必要な現場の技術・技能を習得し、
課題解決力をつける

同じ立場の仲間との出会い！

経営視点
からアプローチ

経営者に必要な
基本的知識と心構えを身につける

前期12日・後期10日の22日間コース（合宿研修）

Page. 9

Up

現場を理解し、課題に気づく

**4カ月の研修で、
即戦力になれる
知識と実務を体得**

新卒・未経験者を対象としており、
板金加工の知識や経験がなくても、モノづくりに必要な
専門知識と加工技能を体得することができます。



**毎年4月
開講！**

※年1回の開催となります。

講座の特長

【 統合的な加工技能の習得 】

「一人で製品ができる」を目標に据えた技能講座が主体です。習得した知識・技能に合わせて、デジタル板金加工のツボを押さえつつ力量を高め、「どの工程でも活躍が期待できる製造技術者」を目指します。また、現場実務で必要となる「7種類の公的資格」取得も含まれます。

【 専用宿泊施設と専用教室による集中できる学習環境 】

一般的な通学による操作教育とは異なり、専用宿泊施設と専用教室を用意し、講習に集中できる環境を整えています。専用宿泊施設のため、女性の方でも安心して参加することができます。

また個人専用PCが貸与されるため、いつでもどこでもソフトウェアのトレーニングが可能です。

【 独り立ちへの自己変革 】

社会人・職業人として必要な、日常習慣や言動、職務役割などを日々の講習で身につけることができます。職場で大切な対人関係能力を向上させるため、受講者相互の尊重・信頼・協力の重要性、チームワークの大切さなどを学んでいきます。受講者同士の意見交換や講師陣の指導アドバイスにより、望ましい姿へ自己変革する機会が得られます。



目指すゴール

作業工程の理解、課題の気づきと改善

【どの工程を担当しても活躍が期待できる技能を習得する】

CAD、CAMによるデータ作成からマシン操作、製品完成まで、最新デジタル板金加工プロセスによるモノづくり技術を学びます。さらに現場改善手法の基本(5S・ムダ取り・不良)や展開、工程設計、加工作業のコツ、留意点を習得します。

【現場で必須の公的資格取得】

現場作業を行う場合に不可欠となる「7種類の公的資格」を取得します。

【問題点の把握と原因分析、改善手法の習得】

問題点を把握し、背後にある原因を分析手法を使って実戦形式で学びます。その上でPDCAサイクルなどを用いた改善手法を習得します。

理論と体験が本当の知識を育む3

1

「技能講座」の構成

板金加工の専門知識、ソフト・マシン操作、QCDを満たす加工技能習得

講座構成の内容

■ 板金加工概論

板金製品の使われ方、板金加工の概要

■ 板金図面

板金図面の読み方・書き方、材料、展開図作成

■ CAD・CAM

3次元ソリッド板金CAD

2次元CAD・CAM

ブランク加工データ作成全自動CAM

曲げ加工データ作成全自動CAM

■ 基本工作作業

けがき、ボール盤、タップ、仕上げ、
測定機器・工具等

■ ブランク加工

NCT、レーザ、複合機、パイプレーザ加工

■ 曲げ加工

プレスブレーキ、曲げ金型、曲げ加工の自動化

■ 溶接

TIG溶接・スポット溶接・レーザ溶接

■ 汎用加工

シャーリング、バリ取機等

■ 製品加工

実習課題、自由課題、修了課題

■ 工場板金技能検定対策

板金検定2級実技

■ 生産管理

生産管理ソフトの機能と活用メリット

■ 生産性向上の必要性和現場改善

5S優良事例研究



つの特長

2 「資格習得講座」の構成

現場作業必須の公的資格を取得

■ 【技能講習】

以下の作業を行う場合は、法令に基づいた技能講習の修了が必要です。

- ① 床上操作式クレーン運転技能講習
- ② 玉掛け技能講習
- ③ フォークリフト運転技能講習



■ 【特別教育】

工場内勤務者が下記作業を行う場合は、労働安全衛生法(第59条3項)により、事業者は人身事故防止のために特別教育を行わなければなりません。

- ① 動力プレス of 金型等の取付け取外しまたは調整の業務に係る特別教育
- ② 産業用ロボットの教示等の業務に係る特別教育
- ③ 研削といしの取替え等の業務に係る特別教育(自由研削)
- ④ アーク溶接等の業務に係る特別教育



3 「企業見学、その他」の構成

将来像を考え、目標とする姿を具体化

■ 時代の先端を進む金属加工企業 見学

精密板金部品メーカー・機械カパー・
プレス関係等
表面処理専門企業(めっき)
株式会社アマダ 富士宮工場

注) 受講日程、協力企業の都合等で、訪問先が変更になる場合があります。

■ 公共展示会等

設計・製造ソリューション展・
MF-TOKYO(東京ビッグサイト)等
最新のモノづくりや業界動向がテーマの講演、
アマダ・グローバルイノベーションセンター

注) 受講日程、開催日程の関係等で、訪問先が変更になる場合があります。

■ 新聞チェック、ビジネス図書閲覧

本講座では人材育成の観点から、
豊富にビジネス図書を用意しています。

○ 月次配布『Sheetmetal ましん&そふと』
マシニスト出版

○ 経済新聞の提供

職業人として必要な経済情報に日々触れ、
世の中の変化や動きを知る機会を提供しま
す。受講者相互で意見交換する際の「時事
の話題」として活用することができます。

■ プレゼン・パソコン講習

PowerPoint 基本操作
プレゼンテーション資料作成のコツ
プレゼンテーションの伝え方
質疑応答のロールプレイ



GMC募集要項

- **受講対象**：成人の方（未成年の方は面接により決定いたします）
- **受講定員**：8名
- **開講期間**：4～8月
- **講習日数**：80日間（株式会社アマダカレンダー準拠 週休2日 GW休暇あり）
- **講習時間**：原則 9:00～17:00
- **基本日課**：7:00 朝食
8:30 本校へ移動
8:45 講習準備、朝礼等
9:00～17:00 講座受講（昼休11:30～12:30）
17:00 日報記述、意見交換、終礼
17:30 宿泊施設へ移動、夕食、自習、フリータイム（必要に応じて補講）
- **講習場所**：伊勢原本校 専用教室、実習場
その他外部機関、協力企業等
- **その他**：専用宿泊施設利用、朝食・昼食・夕食の提供（講習日のみ）
ノートPC貸与、作業服、安全靴支給

【人材開発支援助成金対象講座】

GMC講座は厚生労働省・都道府県労働局が主管する「人材開発支援助成金」の受給対象となる場合があります。条件として訓練開始日から起算して1カ月前までに「職業訓練実施計画届」を都道府県労働局に提出する必要があります。

詳しくはお近くの都道府県労働局へお問い合わせください。

ホームページ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html



厚生労働省

・ 本文へ ・ お問い合わせ窓口 ・ よくある質問 ・ サイトマップ ・ 国語版の場

Google カスタム検索

テーマ別に見る 報道・広報 国際について 厚生労働省について 統計情報・公表 労務の法令等 申請・補償・情報公開

ホーム 国際について 国際的な政策一覧 雇用・労務 統計 労働安全衛生の国際的な政策 人材開発支援助成金

人材開発支援助成金

従業員の人的育成、スキルアップに助成金を活用ください！

人材開発支援助成金は、事業主等が雇用する労働者に対して、職務に関連した専門的な知識及び技能を習得させるための職業訓練等を計画によって実施した場合等に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。



事例で学び、体験で身につける

経営に必要な内容が
凝縮されています

経営者は財務・人事・労務・企業戦略など幅広い知識が要求されます。いろいろな研修会は各場所で行われていますが、板金加工業の経営に必要な内容が凝縮された少人数制の講座はJMCしかありません。

講座の特長

【実務重視のカリキュラム】

理論に留まらず、実践に直結する知識とスキルを重視したカリキュラムが組まれています。具体的なシミュレーションやケーススタディを通じて、学んだことを実際のビジネスシーンでどう応用するかを体得します。

【多様な学習形式】

講義、ワークショップ、グループディスカッション、個別指導など、多様な学習形式を採用しています。これにより、受講生が様々な視点から学びを深めることができます。また、他者のプレゼンテーションを通じて、表現の多様性に気づきを得ることができます。

【前期12日・後期10日の22日間合宿研修】

社会人・職業人として必要な、日常習慣や言動、職務役割などを日々の講習で身につけることができます。職場で大切な対人関係能力を向上させるため、受講者相互の尊重・信頼・協力の重要性、チームワークの大切さなどを学んでいきます。受講者同士の意見交換や講師陣の指導アドバイスにより、望ましい姿へ自己変革する機会が得られます。

1979年の開講以来 1000名を超える修了生が活躍！

JMCの受講生同士で
絆が生まれ、
一生の仲間となる

「JMCで何が一番良かったか？」という質問に対して
「信頼できる仲間ができたこと！」との回答が必ず返ってきます。
修了し、実践がスタートした後も、様々な問題・課題の良き相談相手、
ライバルとなる、未来永劫つながる仲間ができます。



目指すゴール

【実践的な経営知識の取得】

経営者として必要な仕事（経営戦略、マーケティング、労務管理、財務管理、組織づくりなど）を理解し、基礎的な知識を身につけます。

【経営後継者としての自覚の醸成】

講習を通じて気づきが生まれ、自分自身の強み弱みを理解することで、継続的な自己改善と成長を目指す姿勢が自然と意識されるようになります。それによって、行動が変わっていきます。

【経営後継者としての実践スタート（現経営者から学ぶ）】

現経営者から知識や経験を引き継ぐことは非常に重要です。定期的なミーティングやディスカッションを通じて、経営ノウハウを習得する上での基礎的な知識が身につきます。

【経営者としての広範囲な人脈形成とコミュニケーション能力育成】

経営者として必要なコミュニケーションを学び、従業員やステークホルダーとの対話を通じて信頼関係を構築するスキルの向上を図ります。

また、受講生や講師・修了生・企業見学先等とのつながりを通じて、ビジネス上の人脈を広げ、情報共有や相互支援の機会を増やします。

経営者の仕事を理解し、必要な経営

「JMC・後継者育成講座」の主な構成

講座構成の内容

■ 経営者の仕事とは

- 1日目：経営者として必要な経営知識
(企業環境変化・経営者の役割・マネジメントの基本)
- 2日目：強い組織集団の構築について学習します。
(機能的組織編成・社員動機付け育成・人事制度構築)

■ 国の中小企業施策

日本国内の中小企業支援策を学習します。
(種類、活用メリット、申請事例、申請のための体験シミュレーション)

■ 経営マネジメントゲーム

経営をゲーム感覚でシミュレーションし、学んだ知識を深めます。
財務分析(損益計算)・経営戦略(事業計画立案)

■ 経営者を目指して

戦略的経営の基礎を学習します。
CS経営、経営ビジョン、戦略の策定と展開
将来の企業像は何か？
それを実現する戦略は何か？

■ モノづくりの基本5Sを学ぶ

現場で改善活動の基本である「5S」を学習します。
(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)
(実践方法、原価低減、担当者の任務、自社分析)

■ 企業研修

2社の企業見学を実施し訪問先の経営者と面談、経営の現実や製造現場の工夫などを体感します。

学習風景



経営の仕事(組織集団構築)



企業研修



施設研修(国立産業技術総合研究所)

知識を習得する

■ 中小企業の戦略的方向性

次世代経営者に求められているもの
後継者の心構え(事業承継は経営革新チャンス)
後継者に必須の戦略思考を学習します。

■ 利益を生み出す経営基盤の基礎

会社経営者として、利益を上げるための具体的な
方策を実践形式で学習します。
購買単価・生産性向上・DX活用など

■ 財務分析

1日目：会社の財務に関する基礎知識
2日目：自社の財務分析を学習します。

■ 中小企業労務管理

毎年のように改正される労働関連法規。
リスク管理・コンプライアンスを含め、多くの
事例を学習します。

■ Talk-Together

JMC修了生を招き、受講時と修了後の体験談を
語っていただきます。交流は今後の人脈拡大に
つながります。

■ プレゼンテーション

資料の作成と発表テクニックを学習します。



財務分析(基礎知識)



国の中小企業施策(企画発表)



経営マネジメントゲーム



JMC修了生感想

必ず振り返る場所！



第138期 株式会社鈴木製作所 遠藤 り加 氏

長いようで、短かった22日間、本当に多くのことを感じ学ぶことができました。さまざまなカリキュラムを通じて自分の無知さを痛感した22日間でした。ですがこの思いに今、気づくことができたことは今後、経営者として生きていくうえで大きな財産になると思います。JMC初日から書き留めていた日記を改めて振り返ると、自分の無知さ、弱さそしてこれから先の強い思いを書きつづっていました。これから先、さまざまな試練に立ち向かうことも多々あると思いますが、自分の鎧を外せる場所、仲間に出会えたことに感謝します。楽しく切磋琢磨し、これからも末永いお付き合いをお願いします。

後輩に夢を語れるよう頑張る！



第139期 有限会社アークス 小出 竣也 氏

JMCに参加した一番の目的は同じ立場の仲間と出会うことでしたが、この研修ではかけがえのない仲間ができたことはもちろんのこと、他にも多くの学びがたくさんありました。前職で会計士として働いていたこともあり、財務や経営学についてはある程度知識があり、人、モノ、金を上手く運用してあとは仕事をとれば会社を良くすることができると頭でっかちなところがあったように思います。しかし、JMCで講師の方々のお話を聞いたり、同期と話をする中で、自分一人では会社がよくならないこと、社員と向き合ってコミュニケーションをとる重要性など、1人で考えているだけでは得られない気づきをもらいました。また、JMCのOBの方々のお話はとても刺激的でした。自分の仕事に夢中となり、没頭していることがひしひしと伝わり、自分の軸をもって仕事をしている姿はとてもまぶしく映りました。自分もJMC修了生として後輩に夢を語れるようにこれから頑張っていきたいと強く思いました。

敵を知り己を知れば百戦危うからず！



第142期 株式会社後藤製作所 後藤 宏典 氏

「経営者とは?」「経営者の仕事とは?」から始まり、「経営者の生き方」で締めくくる、前期から後期の講義。たくさんの講師の方々のお話を直接聞き、手法や考え方を直接学ぶ機会を提供いただいたJMCには、感謝しかありません。ここで学んだ知識・経験は、財産となる事でしょう。その財産…盾となり矛となり得るそれらを活かすも殺すも後はプレイヤー次第になるわけで…。自社に持ち帰り何をどのように活かすか…。あまりにもたくさんあり、どこから手を入れて何をしていくのか明日以降の課題であり、課題をみつけれられたことそのものがJMCで学ぶことができた一番の収穫であり、それを改善していくことにあたり、そのツールこそが学んだ知識になる。それを踏まえて明日からスタートになるわけだが、まずは自社の足元、置かれている環境を再認識することから始めないと、次の一歩がふみだせないのも事実。できることから見直すことを始め、少しずつ過程を踏んでいくしかない!

JMC募集要項

- **受講対象:** 成人の方
- **受講定員:** 8名(合宿研修)
- **開講期間:** 毎年3回/年(2月・6月・10月)
- **講習日数:** 22日間(前期12日・後期10日)
土曜日、日曜日も講習連続実施
- **講習時間:** 原則 10:00～17:00
- **基本日課:** 6:30 ラジオ体操・散歩
7:00 朝食
8:00 ニュース・ペーパーイン(日本経済新聞)
10:00～17:00 講義(昼休11:30～12:30)
17:30 宿泊施設へ移動 フリータイム・自習
19:00 夕食
19:30 フリータイム
- **講習場所:** アマダスクール伊勢原本校 専用教室
アマダ富士宮事業所 朝霧カントリークラブ
産業技術総合研究所(つくば)
協力企業
- **その他 :** 専用宿泊施設利用、朝食・昼食・夕食の提供
ノートPC貸与



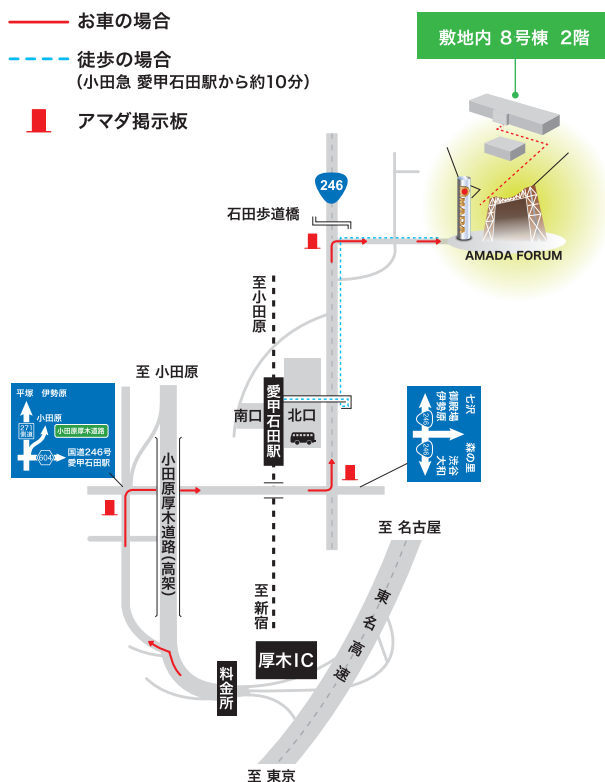
ゴルフ教室



テーブルマナー教室

伊勢原本校

〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田350
TEL: 0463-96-3586



伊勢原本校

〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田350

TEL: 0463-96-3586

URL: <https://www.amada.co.jp/amadaschool/>

